

川崎支部情報

中央
本部



横浜
地本



大会宣言 (案)

私たち、JR東労組川崎支部は8月3日、川崎市産業振興会館において第22回定期大会を開催し、会社内で起こる不適切な事象やハラスメントを許さず、2名の加入を実現した実践を次の運動につなげ、全組合員とともにさらなる組織強化・拡大を実現するための方針を満場一致で確認した。

2024JR総連春闘をたたかうにあたり、職場現実と現場の声を会社に訴えるため横浜地本春闘メッセージ行動を支部内の全分会で実践し、メッセージの集約状況を支部内で共有することで100%を達成した尻手駅分会を先頭に春闘の機運をつくり出してきた。しかし、要求満額をかち取ることはできなかった。私たちは、「融合と連携」の名の下、過去最高の働き度で苦労している。会社は事あるごとに「厳しい経営環境」を理由に賃金抑制の姿勢を崩していない。このような経営姿勢を打ち破り、要求を実現するためには組織拡大しかない。川崎支部内では、春闘期間中に1名の組織拡大を実現した。社友会会員や未加入者のJR東労組へのさらなる結集を推し進め、2024年度年末手当、そして25春闘要求実現のため、川崎支部全組合員でたかい抜こう！

6月8日、中央本部元執行副委員長の不祥事が発覚した。これは、中央本部役員の組合員への背信行為である。自らを律し、相互指摘により不幸な組合員を二度と生み出さないために職場から議論をつくり出していく。一方で、会社は事象を起こした社員に対する厳罰を行い、原因究明も、対策もしない。このような経営姿勢では事故は防げない。このままでは、恐怖支配によりモノ言えぬ社員づくりが行われ、安全よりも利益追求の経営姿勢が貫徹されてしまい、JR西日本福知山線脱線事故以上の事故が発生しかねない。そして、職場内で不適切な事象が相次いでいる。セクハラやパワハラ、パワハラ転勤懲罰、川崎統括センターの現過半数代表者選出において、テンポラリースタッフを対象とした「安全研修」での、脅迫・買収、JR東労組への誹謗中傷、そして不正を打ち消そうとする欺瞞の信任投票と、JR東労組を敵視した異常な職場管理が横行している。こうした会社の姿勢に怒りをもった川崎統括センターの仲間がJR東労組に加入を決意した。「安全・健康・ゆとり」のある職場をつくり出すために、組合員、未加入者と議論をして、JR東労組への結集を更に実現していこう。「業務の融合と連携・兼務」の名のもと、今後も労働強化や効率化がさらに進んでいくなかで、私たちは組合員の「健康・ゆとり・働きがい」を守るべく、運動を推し進めていく。

世界情勢も混迷の度合いを深めている。日本近海でも台湾有事への懸念があり、各国の利害がぶつかる場となっている。私たち労働者が、平和で安心して暮らせる社会を実現するために、横浜地本推薦議員等懇談会との連携などを通じて、共に行動していく仲間をつくり出し、未来を切り拓いていこう！

私たちJR東労組川崎支部は「新生JR東労組運動宣言」をもとに、安全哲学の再確立をめざし、おかしいことは「おかしい」と声を出し、あらゆる妨害に立ち向かい、組織強化・拡大を成し遂げていこうではないか！

以上、宣言する。

2024年8月3日
東日本旅客鉄道労働組合
川崎支部
第22回定期大会